

(シラバスNo.8)

科 目 名	臨床心理学特論	科目コード	24P-A2	
		科目群名	専門科目 (A 群)	
	Advanced Seminar on clinical psychology	必修／選択	選択	
		教職	小・中・高	
担当教員	芳川 玲子	単位数	2	

【実務内容（実務家教員の場合）】

該当しない

【授業概要】

臨床心理学は、悩みや病気、障害などを抱えた人を理解し、支援することを目的とした心理学の一分野である。本講義では、臨床心理学を支える精神医学の知識を基礎知識として学び、そこから人の発達段階に沿った内容、さらに、支援のための心理療法について講義を行う。

授業では資料講義で終わることがないように、受講者の興味関心や実践に応じた自主発表、グループに分かれての討議、理論と実践両方の理解の深化をねらう。受講者のニーズに合わせて内容をある程度焦点化して行うこともあるが、原則として授業計画にある内容を扱う。

【授業の到達目標】

- ①臨床心理学の知識と技法を理解できる
- ②臨床心理学の対応について理解できる
- ③臨床心理学の近接領域である精神医学の基礎知識について理解できる

【授業の形態】

メディア授業の実施（あり）

<授業の特徴>（主に実施に◎、実施に○を付けてください）

形態	実施	具体的に実施すること
講義	◎	各授業回のテーマに沿った資料の配付
グループワーク・質疑	◎	受講者全員による授業回テーマの討議
演習		
プレゼンテーション	◎	各授業回で受講者による発表
制作		
その他（ ）		

【授業計画】

回	内 容
1	ガイダンス
2	臨床心理学とは何か
3	臨床心理学と精神医学 1：統合失調症と気分の障害
4	臨床心理学と精神医学 2：不安障害とパーソナリティ障害
5	臨床心理学と精神医学 3：ストレスと精神疾患
6	臨床心理学と心健康教育
7	乳幼児の臨床心理学
8	思春期・青年期の臨床心理学
9	成人期の臨床心理学
10	高齢期の臨床心理学
11	パーソナリティ理論
12	心理アセスメントの方法と心理検査
13	心理療法論 1：精神分析・ユング心理学
14	心理療法論 2：来談者中心療法と認知行動療法
15	心理療法論 3：システムアプローチと遊戯療法

試験
【履修上にあたっての準備】 ・授業内容に関わる受講者自身の体験・経験について整理しておくこと
【授業外学修（予習・復習）】 ・各回のテーマについて自身の知識を整理しておくこと ・授業内で決定した課題発表の準備を行うこと ・各回の授業後には、レポート試験を見据え、発表や授業内容についてまとめておくこと
【評価方法】 ・レポート試験（50%）、課題発表資料の提出（30%）、授業内ワーク・演習（20%）
【教科書】 ・毎授業回に資料を配布する
【参考図書】 ・橋本朋広他（2023）『新訂臨床心理学特論』 放送大学教育振興会 ISBN 978-4-595-14191-1 ・丹野義彦他（2025）『改訂版臨床心理学』 有斐閣 ISBN978-4-641-05390-8 ・金沢吉典他（2023）『現代の臨床心理学5 臨床心理学と心の健康』 東京大学出版会 ISBN-13: 978-4130151757 ・熊野宏昭他（2022）『現代の臨床心理学3 臨床心理介入法』 東京大学出版会 ISBN-13: 978-4130151733 ・谷岡哲也他（2020）『メディカルスタッフのための精神医学』 中外医学社 ISBN-13: 978-4498076983 ・学習指導要領及び解説（小学校・中学校・高等学校）：文部科学省 その他、授業内でも関連図書を紹介する